

コート・ジヴォワールでは、病者や貧者を訪問する。

アリアンス・マリアルスの在俗奉獻会員は皆、生活している場では宣教師であり、「訪問」(私たちの司牧の祭日)のときにマリアさまから示唆を受けています。こうして、アビジャンでは、エミリエンヌは、アリアンス・マリアルスのお陰で、隣人への愛に深く入りました。

彼女は日曜の午後(あるいは仕事の後の晩)に、病人、高齢者、孤立した人のそばに行き、具体的に「訪問」を生きています。また、彼女は病院に行き、虐待されたり、落胆した病人を見舞っています。必要があれば、彼女は、自宅から持ってきた温かいお湯で体を洗ってあげたり、食糧や衣類を差し上げています。

「私は彼らに生きる喜びを与えています。神さまが彼らを愛し、彼らはその値があるからです。彼らは私たちの兄弟であり、彼らには、私たちの注意、尊敬、慈愛が差し向けられなければなりません。彼らは、単に、愛を十分に受けて来られなかっただけなのです。」

「私が病気のときにあなた方は訪ねてくれたからだ。」(マタイ25, 36)

